

第18回 日本がん分子標的治療学会 TRワークショップ

# がん分子標的療法耐性と克服戦略: 2023アップデート

会期  
2023年 1/17 日

会場 都市センターホテル コスモスホールI  
(東京都千代田区平河町2-4-1) 状況により、オンライン形式

WEB <http://jamttc.umin.jp/tr18/>

※ホームページからお申し込みください。 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。 ※状況に応じて、完全オンライン開催に変更される可能性があります。

参加申込み  
事前登録制  
参加費  
会員:1,000円  
非会員:3,000円

実行委員長  
南 陽介 (国立がん研究センター東病院)  
実行委員  
片山 量平 (がん研究会 がん化学療法センター)  
根東 攝 (中外製薬株式会社)  
宮寺 和孝 (大鵬薬品工業株式会社)  
小山 正平 (国立がん研究センター 先端医療開発センター)  
藤原 康策 (第一三共株式会社)

## プログラム

9:30	開会挨拶	日本がん分子標的治療学会理事長: 吉田 稔 (理化学研究所/東京大学)
9:40~11:20	ワークショップ1: 分子標的療法の耐性と克服 I	座長: 片山 量平 (がん研究会 がん化学療法センター) 藤原 康策 (第一三共株式会社)
	EGFR変異肺がんにおける共存RBM10遺伝子変異による分子標的薬耐性	金沢大学 がん進展制御研究所 南條 成輝
	ALK 陽性肺癌細胞株を用いた drug-tolerant persister の同定と FGFR1 阻害剤との併用による耐性克服	中外製薬株式会社 古垣 耕
	EGFR変異マウスモデルを用いたEGFR-TKIが誘導する腫瘍免疫応答と逃避機構の解析	岡山大学病院 大橋 圭明
	DXd ADC技術とその応用例としてのHER3-DXd	第一三共株式会社 鈴木 宏和
11:30~12:15	特別講演1 (共催ランチョンセミナー/武田薬品工業株式会社)	座長: 南 陽介 (国立がん研究センター東病院)
	白血病幹細胞と腫瘍免疫	東京大学医学研究所 合山 進
13:00~13:45	基調講演	座長: 根東 攝 (中外製薬株式会社)
	国際競争力を備えたがん研究開発について	国立がん研究センター東病院 大津 敦
13:50~15:05	ワークショップ2: がん免疫療法の耐性と克服	座長: 小山 正平 (国立がん研究センター 先端医療開発センター)
	がん微小環境の解析による免疫療法耐性化機序の解明とその克服	国立がん研究センター 先端医療開発センター 小山 正平
	がん免疫記憶モデルと患者検体を用いた治療抵抗性因子の探索	がん研究会 がん化学療法センター 片山 量平
	新規EP4拮抗剤ONO-4578によるがん微小環境の制御を介した抗腫瘍効果	小野薬品工業株式会社 小谷 透
15:20~16:35	ワークショップ3: 分子標的療法の耐性と克服 II	座長: 宮寺 和孝 (大鵬薬品工業株式会社)
	HSP90阻害剤pimitepsibの創製と耐性がんへのアプローチ	大鵬薬品工業株式会社 大久保 秀一
	AMLゲノム解析による耐性残存評価と克服戦略	国立がん研究センター東病院 池 成基
	KRAS G12C阻害薬の初期・獲得耐性機構の解明とその克服	愛知県がんセンター研究所 衣斐 寛倫
16:45~17:30	特別講演2 (共催アフタヌーンセミナー/ノバルティス ファーマ株式会社)	座長: 池添 隆之 (福島県立医科大学)
	CMLにおけるTKI治療の課題とアシミニブによる克服	東京医科大学病院 片桐 誠一郎
17:40	閉会挨拶	第18回TRワークショップ実行委員長: 南 陽介 (国立がん研究センター東病院)